

## 議事要旨

会合名：第1回 モデル取引・契約書見直し検討部会／DX 対応モデル契約見直し検討 WG（WG2）（合同）

日時：2019年5月21日（火）16:00～18:00

議事内容：

### 1. 部会／WG の進め方について

部会およびWGの進め方について、以下の確認をした。

- 部会は全体の方向付け・整合性の確認を行い、具体的内容の検討は各WGで行う。
- 部会だけの委員はWGに出席するか、WGの資料を送付してもらい状況を共有する。
- 現行成果物の公開サイトはMETIとIPAに分かれているが、改定版は今後調整とする。
- WG2の改正民法対応は、可能な部分について民法改正対応モデル契約見直し検討WG（WG1）の成果を取り込む形で進める。

### 2. WG1 の論点について

WG1の論点及び部会委員提出の資料について説明し、以下の確認をした。

- 論点を確認した。内容の議論については次回（5/30）のWG1にて行う。

### 3. WG2 の論点について

WG2の論点及び関連資料について、以下の議論があった。

- アジャイルの良さをいやすため、どこまで契約に書くのか／書かないのか、のバランスが難しい。
- ベンダ側と同様にユーザ側もアジャイルにコミットすることが大事である。
- ユーザ側、ベンダ側という2つの枠組みで考えてよいのか、という問題もある。
- ユーザ側のアジャイルに対する経験度合いに合わせて契約形態を変えるという考えもある。
- 現場でキーポイントを洗い出した上で、どういう登場人物がいるか、からやってみるのがよい。
- ソースコードの品質やソースコード以外のドキュメントについても有力なテーマである。
- 「理想的なアジャイル」を言語化してWG（及び部会）で共有することが大切である。
- うまくいっている例や紛争例等、議論の参考になるいろいろな例をWGで紹介する。

以上